

こまつまちなみ景観賞

こまつまちなみ景観賞は、都市景観の向上と市民のまちづくりに対する意識の高揚を図ることを目的に毎年行っています。今年度は全国植樹祭の開催を記念して「お庭部門」も新設。全70点の中から次の6点が選ばれました。

まちなみ部門

太田邸(龍助町)



家並み景観の連続感に配慮しつつ低層の建物とし、角地での威圧感を軽減。また、塀越しに庭木が見えるようにするなど、様々な点できめ細かい景観的配慮がなされています。

わくわくコマツ2号館
(こまつの杜)



おおらかな抑揚感のある造りで既存施設群との一体化を図り、市民に集いと憩いの場を提供。JR小松駅東口の開放感と親しみのある都市景観の魅力付けに寄与しています。

木場潟公園西園地展望休憩所
(今江町)



木場潟公園の一面にあり、散策と憩いの拠点施設としての役割を果たしています。風景と同化しつつ、周囲の眺望景観や自然景観の魅力を一層引き出しています。

ワタリ電気(大川町)



景観に同調するよう気配りのある看板にするとともに、エコ環境を連想させるグリーン色を基調に、サイン板・自動販売機などへのトータルカラーコントロールも図っています。

広告部門

夜間景観部門

くすのき歯科医院(吉竹町)



コンパクトで清楚なデザインの建物と調和した抑えの利いた照明によって、清涼感や落ち着き、適度なにぎわいのある夜間景観を創出しています。

お庭部門

本江八幡神社(霊峰)
(本江町)



地元住民が自主的に雑木を伐採整備し、歴史ある神社境内の原風景の魅力を再生。人々の心のよりどころや憩いの場としての景観づくりに寄与しています。

■ 講評



選考委員長 森俊偉さん
(建築家、金沢工業大学環境・建築学部長 教授)

小松以西の北陸新幹線開業に向けたスケジュールも具体性を帯び、所々に新たな小松のまちづくりが再び始動しています。明確な個性を持ち、品格と奥深さと躍動感のある都市・小松が形成されていくことに大いに期待したいと思います。

受賞作品紹介 パネル展

- ◇ 2月5日(金) ~ 12日(金) 南部公民館エントランス
- ◇ 2月12日(金) ~ 18日(木) サイエンスヒルズこまつエントランス
- ◇ 2月19日(金) ~ 25日(木) JR小松駅コンコース
- ◇ 2月26日(金) ~ 3月4日(金) 市役所エントランスホール

問い合わせ

まちデザイン第1課 ☎ 24・8100

